

令和3年10月18日 16:00～

第1回短大IR研修会@ZOOM  
「プロGRESSシートで測る学修成果」

函館短期大学 白府士孝

令和3年10月18日 16:00～

第1回短大IR研修会@ZOOM  
「プログレスシートで測る学修成果」

函館短期大学 白府士孝

# 本日の内容

1. 学力の3要素と本学のディプロマ・ポリシー
2. プログレスシートの開発
3. fGPAとプログレスシートの活用した学修成果の可視化
4. fGPAによる学修成果の可視化
5. 今後の課題

---

# 1.学力の3要素と 本学のディプロマ・ポリシー

# (1) 学力の3要素と本学のディプロマ・ポリシー

## 学力の3要素

## 本学の ディプロマ・ポリシー

知識  
技能

思考力  
判断力  
表現力

主体性  
多様性  
協働性

**知識  
技能**

**思考力  
判断力  
表現力**

**コミュニケーション力  
社会人力**

以上の3つのカテゴリーに分け、それぞれに3つの能力を設定し、これらを身に付けた学生に学位を授与するとした。

## (2). 食物栄養学科のディプロマ・ポリシー

函館短期大学 食物栄養学科の教育目標と3つのポリシー (H29.4.1 施行)			
教育目標	アドミッション・ポリシー(AP)	カリキュラム・ポリシー(CP)	ディプロマ・ポリシー(DP)
食物栄養学科の教育目標	食物栄養学科の入学者受け入れの方針	食物栄養学科の教育課程編成・実施の方針	食物栄養学科の学位授与の方針
<p>以下の人材を養成することが食物栄養学科の教育目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>食を通して、人の健康の保持増進のために活躍できる豊かな人間性を身に付けた人材</li> <li>ライフスタイルに応じた質の高い栄養指導ができる確かな専門性を身に付けた人材</li> <li>生活環境や食文化を通じて、地域社会への貢献をすることができる人材</li> </ol>	<p>食物栄養学科の教育目標を理解し、食と栄養及び健康に強い興味を持ち、高い調理技術を身に付けようとする人を求める。その上で、以下の資質を有することを期待したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>本学の学修に必要な基礎学力を身に付けている人</li> <li>栄養士資格だけでなく、関連する資格はより多く取得しようとする積極的な姿勢を持つ人</li> <li>人の健康のサポーターとして、健康的な生活を実践しようとする人</li> <li>幅広い教養と専門知識を身に付けようとする人</li> <li>人の長所を大切に、明るくコミュニケーションできる人</li> <li>自分の将来に向けて具体的な目標を持ち、そのための学習に対して意欲的な人</li> <li>本学の学園訓をよく理解し、自らの生活の中で実践しようとする人</li> </ol>	<p>食物栄養学科の教育目標及びディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のようにカリキュラム(教育課程)を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>短期大学士の学位に相応しい幅広い教養を身に付ける「基礎教育科目」並びに栄養士に必要な専門知識・技能を身に付ける「専門教育科目」を基盤とし、主体的、能動的に課題に取り組む態度や意欲を形成することで、思考力・判断力・表現力を身に付ける。</li> <li>「基礎教育科目」の「社会人基礎論」及び「教養ゼミナール(SL)Ⅰ、Ⅱ」を機軸として、「専門教育科目」の実験・実習・演習を通して、コミュニケーション力と総合的な「社会人力」を形成する。</li> <li>高い目標を持つ多様な学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できるように、以下の資格取得も可能とする。 ○調理師免許 ○フードスペシャリスト ○介護職員初任者研修 ○社会福祉主事任用資格 ○栄養教諭2種免許 ○中学校教諭2種免許(家庭科) ○健康運動実践指導者 ○レクリエーション・インストラクター ○エアロビック・ダンスエクササイズ・インストラクター</li> </ol>	<p>食物栄養学科の教育目標を達成し、卒業認定に必要な所定の単位を修得して、以下の資質と能力を持つ者に短期大学士(食物栄養学)を授与する。</p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>食と栄養並びに健康に必要な専門的知識と技術を有し、人の健康増進を促すことができる。</li> <li>ライフステージの特性を把握し、栄養管理に反映させることができる。</li> <li>食を通して、地域福祉に即戦力として貢献することができる。</li> </ol> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>生活環境や食文化を深く分析して、課題や問題を見つけ出し、その解決に向けて計画的に考え、答えを導き出す能力を身に付けている。</li> <li>身に付けた知識と技能を生かし、物事を的確に認識して評価できる能力を身に付けている。</li> <li>生涯にわたって学び続け、身に付けた知識や技能及び経験を創造力を持って分かりやすく他者に伝えることができる。</li> </ol> <p><b>【コミュニケーション力・社会人力】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>専門職業人としての高い倫理観を保持し、社会に貢献しようとする事ができる。</li> <li>コミュニケーション力を身に付け、他者と協働して課題を解決しようとする事ができる。</li> <li>他者への思いやりと柔軟な対応力を持つことができる。</li> </ol>

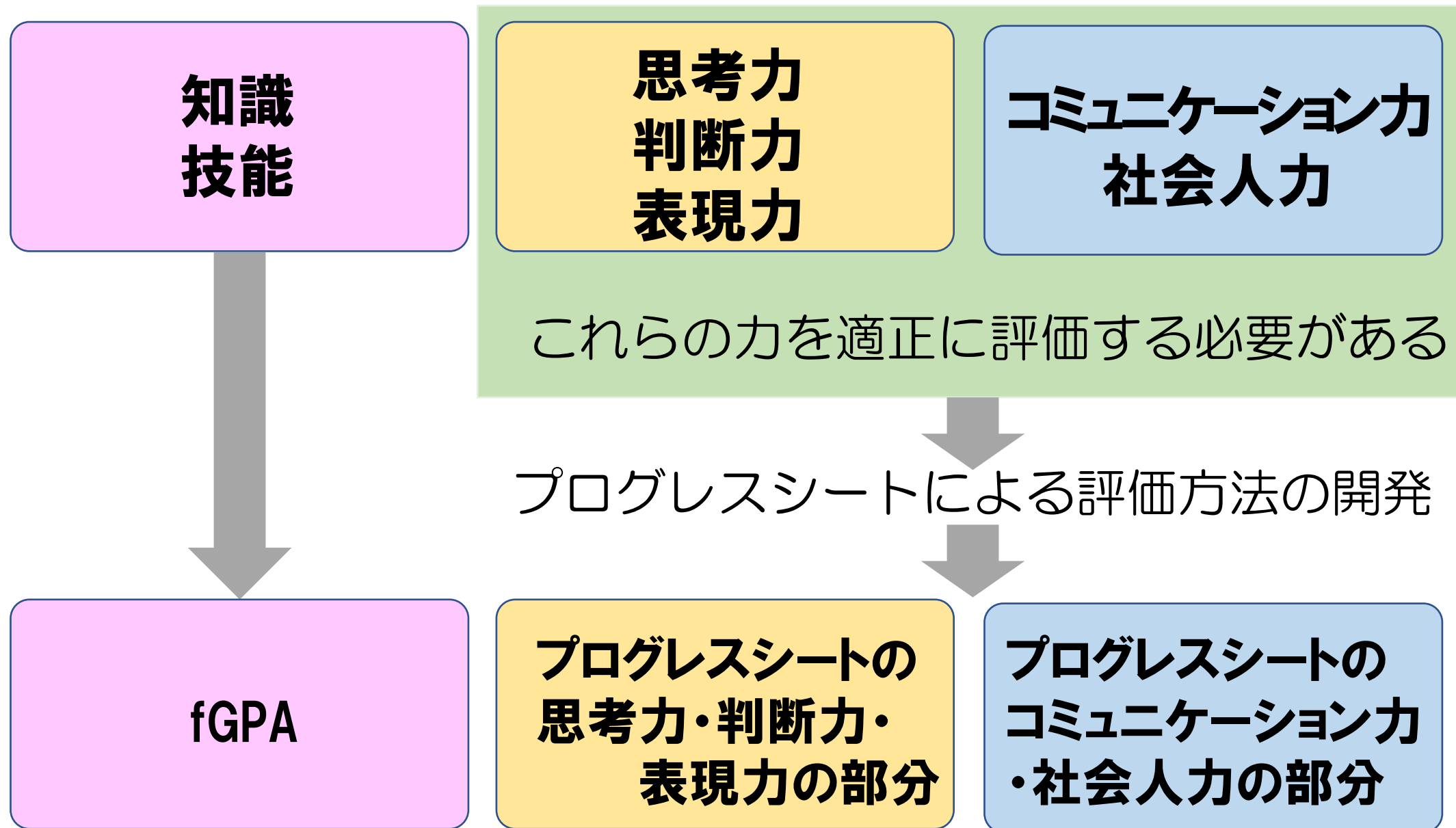
# (3). 保育学科のディプロマ・ポリシー

函館短期大学 保育学科の教育目標と3つのポリシー（H29.4.1 施行）			
教育目標	アドミッション・ポリシー(AP)	カリキュラム・ポリシー(CP)	ディプロマ・ポリシー(DP)
保育学科の教育目標	保育学科の入学者受け入れの方針	保育学科の教育課程編成・実施の方針	保育学科の学位授与の方針
<p>以下の人材を養成することが保育学科の教育目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子供の利益を尊重し、人として尊敬される豊かな人間性を身に付けた人材</li> <li>2. 子供の発達や心の動きに合わせた保育と保護者に対する相談支援ができる確かな専門性を身に付けた人材</li> <li>3. 子育ての環境を地域と共に考えることのできる人材</li> </ol>	<p>保育学科の教育目標を理解し、子供が好きで、子供と子供を取り巻く環境を深く理解しようとする人を求める。その上で、以下の資質を有することを期待したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学の学修に必要な基礎学力を身に付けている人</li> <li>2. 他者と自分を大切に、進んで豊かなコミュニケーションをとろうとする人</li> <li>3. 芸術や運動、自然環境などに対して幅広い興味と関心がある人</li> <li>4. ボランティアなどの学外活動に積極的に参加しようとする意欲のある人</li> <li>5. 幅広い教養と専門知識を身に付けようとする人</li> <li>6. 自分の将来に向けて具体的な目標を持ち、そのための学習に対して意欲的な人</li> <li>7. 本学の学園訓をよく理解し、自らの生活の中で実践しようとする人</li> </ol>	<p>保育学科の教育目標及びディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のようにカリキュラム(教育課程)を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 短期大学士の学位に相応しい幅広い教養を身に付ける「基礎教育科目」並びに保育者に必要な専門的知識・技術を身に付ける「専門教育科目」を基盤とし、主体的、能動的に課題に取り組もうとする態度や意欲を形成する。</li> <li>2. 「基礎教育科目」の「社会人基礎論」を機軸として、「専門教育科目」の実習・演習を通して総合的な「社会人力」を形成する。</li> <li>3. 「専門教育科目」では、各種実習のほか「保育実践演習」を地域課題解決型学習(PBL)に位置づけ、加えてフィールド学習などを通して1つの課題を多面的に把握して考察できる能力を培う。</li> <li>4. 高い目標を持つ多様な学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できるように、以下の資格取得も可能とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園教諭2種免許</li> <li>○社会福祉主事任用資格</li> <li>○レクリエーション・インストラクター</li> <li>○介護職員初任者研修</li> </ul> </li> </ol>	<p>保育学科の教育目標を達成し、卒業認定に必要な所定の単位を修得して、以下の資質と能力を持つ者に短期大学士(保育学)を授与する。</p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育と子育て支援に必要な専門的知識と技術を有し、子供の成長を促す保育を展開できる。</li> <li>2. 地域の特性を適切に把握し、保育に反映させることができる。</li> <li>3. 保育者の社会的使命を理解することができる。</li> </ol> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 子育て環境を深く分析して、課題や問題を見つけ出し、その解決に向けて計画的に考え、答えを導き出す能力を身に付けている。</li> <li>5. 身に付けた知識と技能を生かし、物事を的確に認識して評価できる能力を身に付けている。</li> <li>6. 生涯にわたって学び続け、身に付けた知識や技能並びに経験を分かりやすく他者に伝えることができる。</li> </ol> <p><b>【コミュニケーション力・社会人力】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 専門職業人としての高い倫理観を保持し、社会に貢献しようとする事ができる。</li> <li>8. コミュニケーション力を身に付け、他者と協働して課題を解決しようとする事ができる。</li> <li>9. 他者への思いやりと柔軟な対応力を持つことができる。</li> </ol>

## 2. プロGRESSシートの開発



# (4) . プログレスシートの開発



## (2) . プログレスシートの開発過程

高等学校までに培われた「学力の3要素」をさらに向上・発展させ、社会に送り出すために…



本学独自の取り組みとして、学力の3要素を可視化するための  
プログレスシートを開発



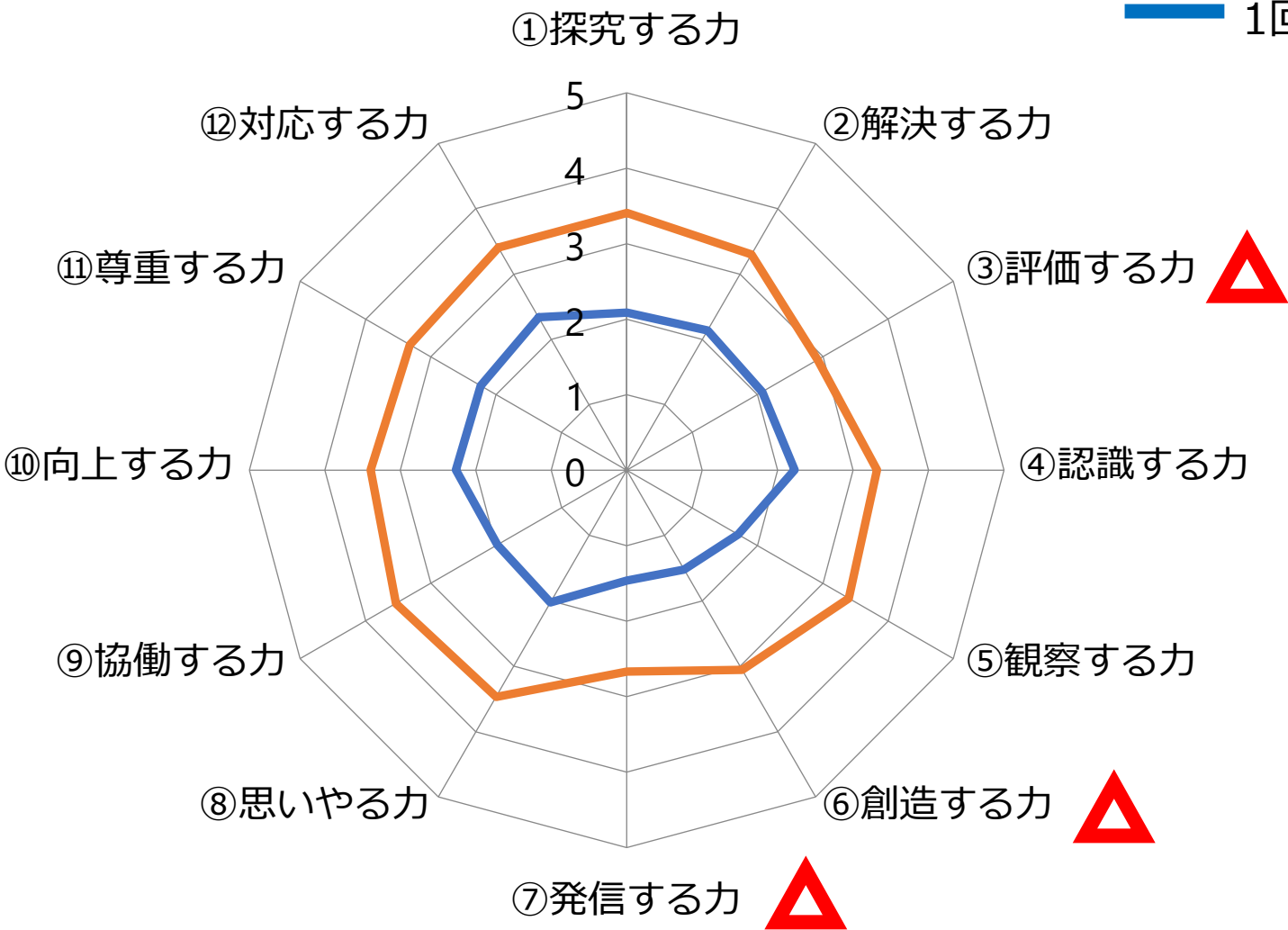
食物栄養学科では12の力、保育学科では10の力を指標とし、  
各学生が、学修成果の到達度を自己評価

# (3) . プログレスシートの実際

食物栄養学科2年生

1・2回目の比較（平均値）

— 2回目  
— 1回目



12の力の中で…

③評価する力  
⑥創造する力  
⑦発信する力  
にやや弱さが見られる。

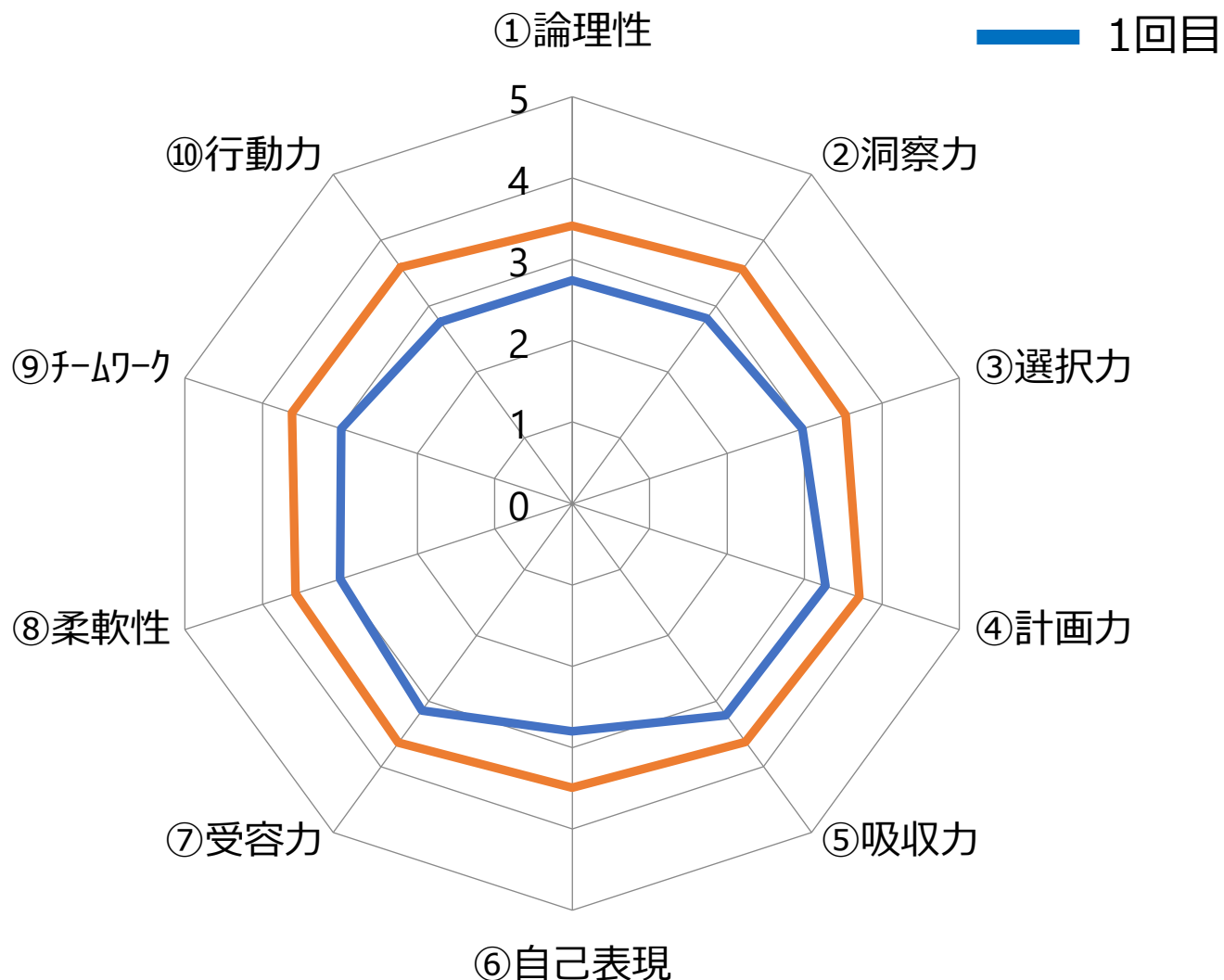
授業の中で…

客観的な視点で評価することや、その過程で新たな気づきを促すこと、さらにそれを分かりやすく伝える力を培っていくことが必要。

### (3) . プログレスシートの実際

保育学科2年生

1・2回目の比較 (平均値)



10の力がバランスよく、成長している。

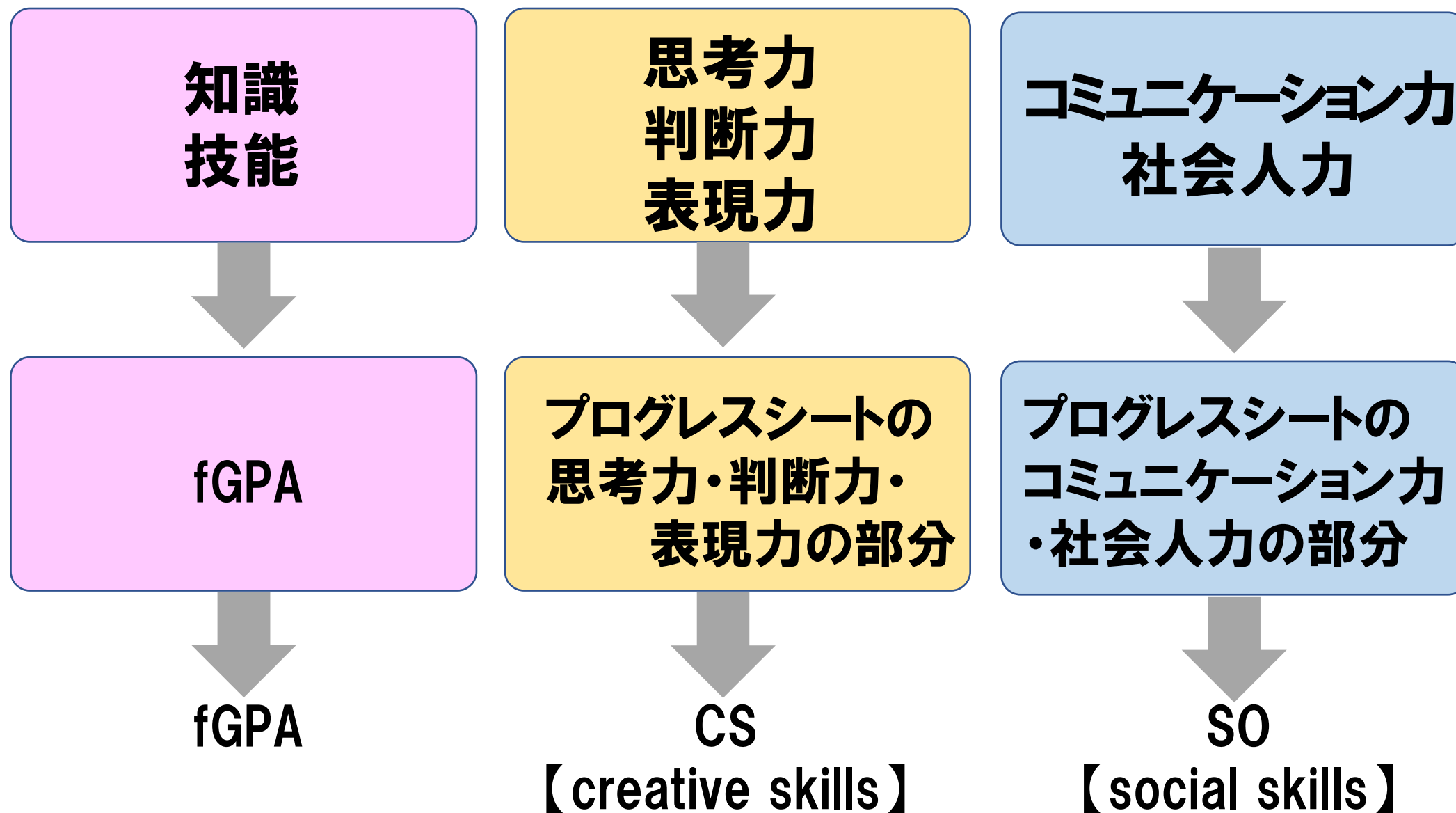
さらに、10の力を伸ばしていくためには、授業の中で…

他者と協働しながら、新しい学びを得られる機会や、その学びをさらに深めるためのコミュニケーションの場を意図的に設定していくことが必要。

---

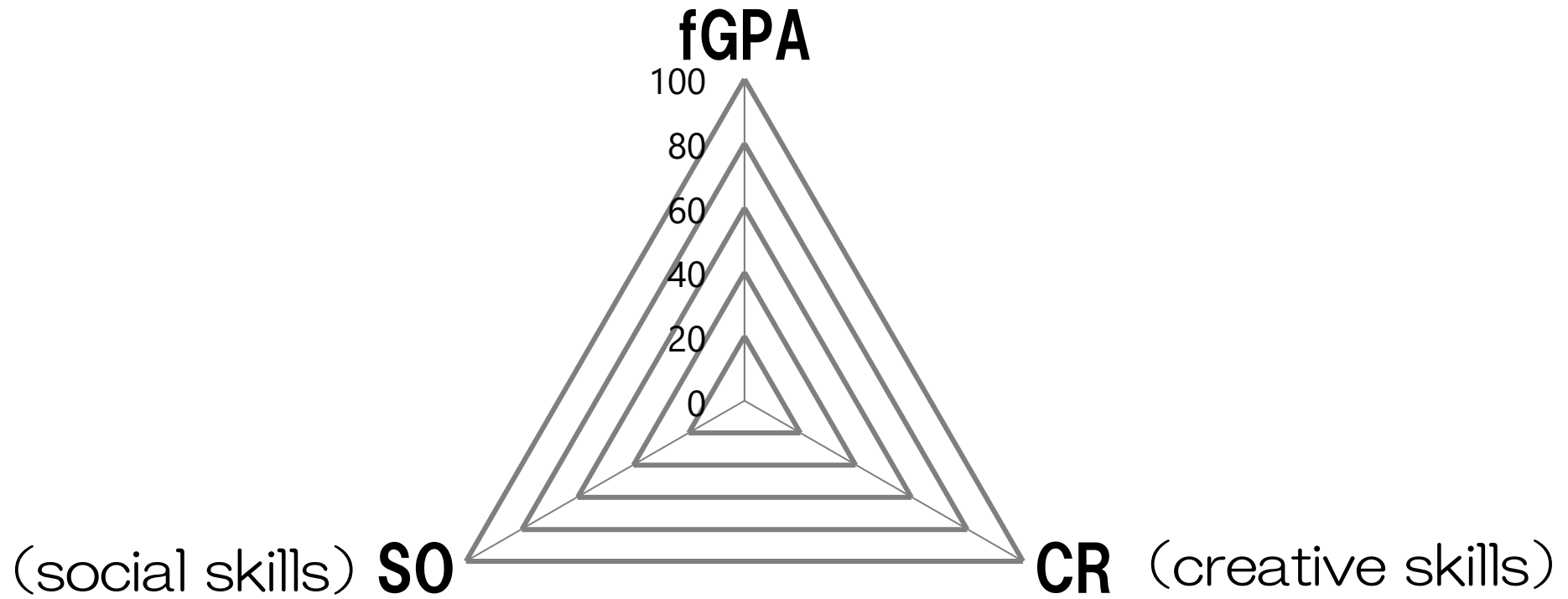
# 3. プロGRESSシートを 活用した学修成果の可視化

# (1). 学修成果の可視化



# (1). 学修成果の可視化

4.5を100%としたときの値

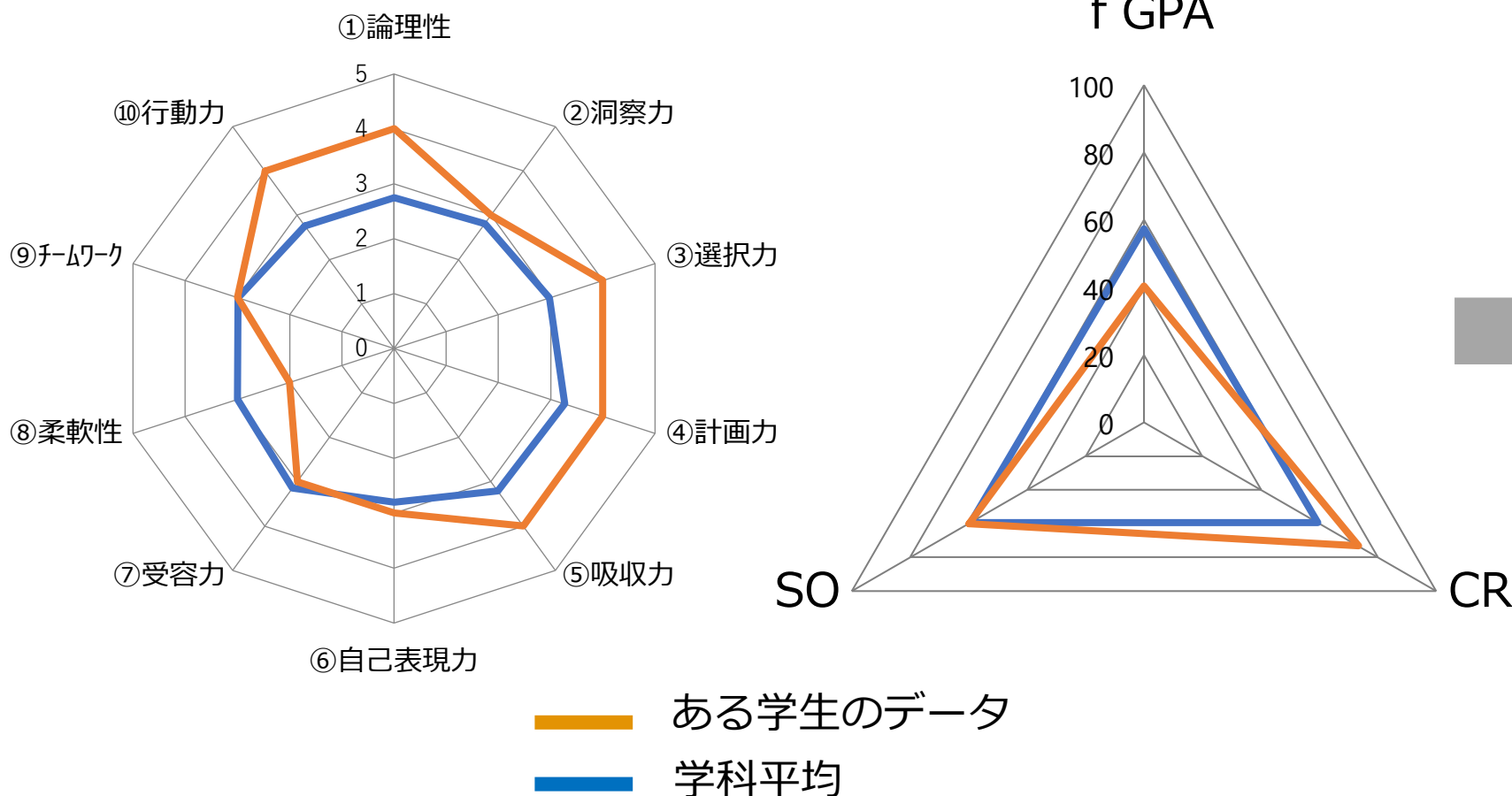


プログレスシートのコミュニケーション力・社会人力の平均値について5を100%としたときの値

プログレスシートの思考力・表現力・表現力の平均値について5を100%としたときの値

## (2) . 学修成果の可視化の実際

(例) プロGRESSシート（保育1年前期）と「学力の3要素」



- 個人間差から見ると柔軟性を課題としている。
- 個人内差から観ると洞察力と自己表現力, チームワークが課題…。
- 仲間との対話的な学びから、新たな視点に気付き、新しい知識や技能を身につけていくことが望ましい。



# 4. fGPAによる学修成果の可視化

# (1).一般的なGPA(GradePointAverage)算出方法

成績素点を秀、優、良、可、不可、等の文字成績（評価）に変換



各文字成績（評価）をGP（grade point）に変換

成績素点	Letter Grade	評価	Grade Point (GP)
90-100	S	秀	4.0
80-89	A	優	3.0
70-79	B	良	2.0
60-69	C	可	1.0
0-59	D	不可	0.0



GPに各科目の単位数を乗じた総和を単位数の総和で除算する

$$\text{GPA} = [\text{GP} \times \text{当該科目単位数}] \text{の総和} / \text{単位数の総和}$$

## (2). fGPA(functional GPA)算出方法

成績素点を直接GP (fGP) に変換【fGP範囲0.5~4.5 / 60点未満は0】

$$\text{fGP} = (\text{評点} - 55) / 10$$

単位修得	試験成績			成績評価	成績評価基準
	合否	評点	f GP		
認定	合格	100~90点	4.5~3.5	秀	理想的な基準を超えて秀逸である
		89~80点	3.4~2.5	優	理想的な基準に到達して優秀である
		79~70点	2.4~1.5	良	標準的な基準に到達して良好である
		69~60点	1.4~0.5	可	最低限の基準に到達している
不認定	不合格	59~0点	0	不可	最低限の基準に到達していない

fGPに各科目の単位数を乗じた総和を単位数の総和で除算する

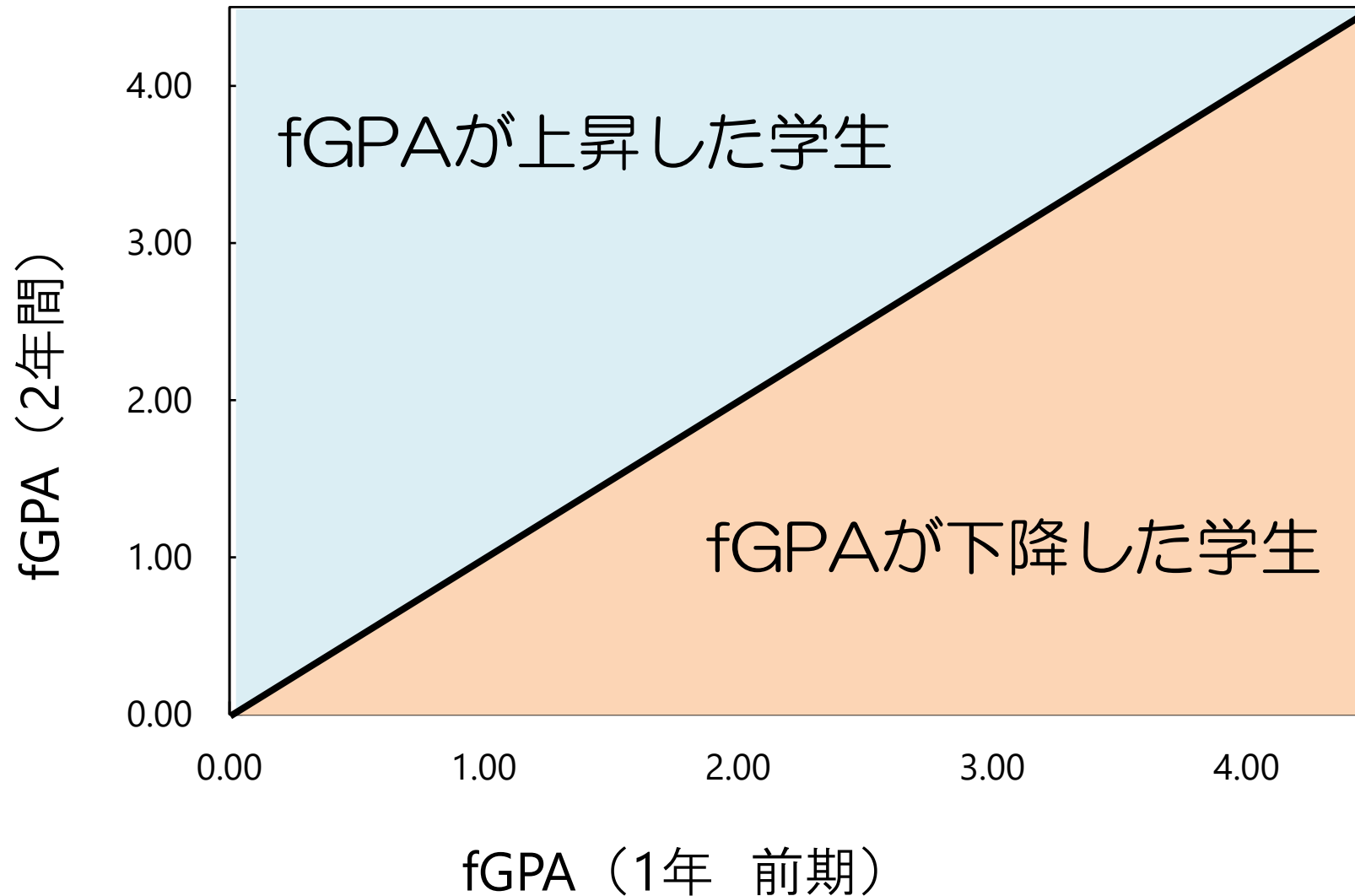
$$\text{fGPA} = [ \{ (\text{評点} - 55) / 10 \} \times \text{当該科目単位数} ] \text{の総和} / \text{単位数の総和}$$

## (3) . fGPA(functional GPA)活用

---

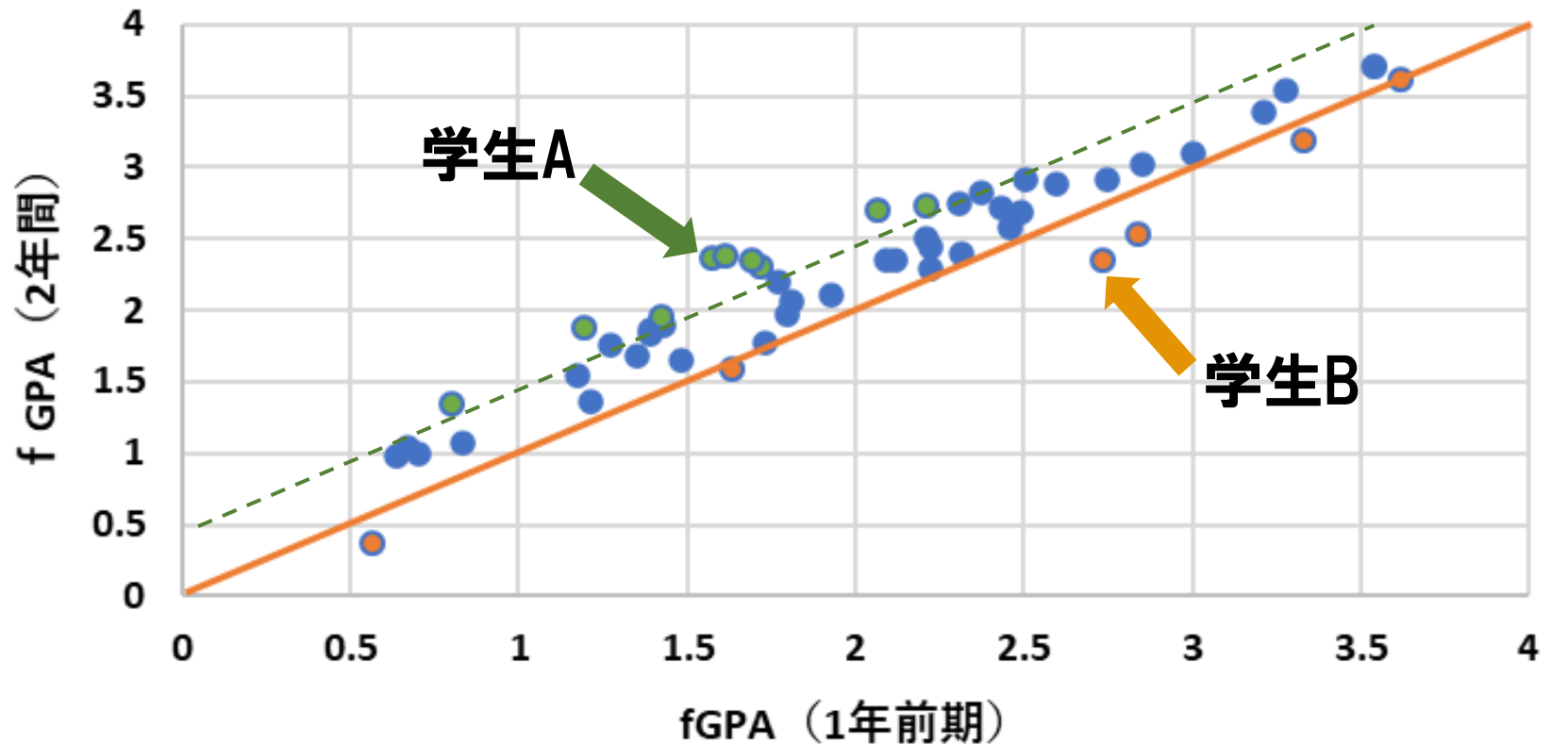
- 成績順位
- 学修の評価
- 学修指導
- 退学勧告基準 (fGPA 0.4未満)
- 卒業判定 (fGPA 0.4以上)
- 履修者に求められる成績水準の設定 (fGPA 1.5以上)
- 精励賞の選考基準 (fGPA 3.5以上)
- 学修ポートフォリオの作成
- 教員の成績評価基準の検証
- 学生の学修意欲の指標

# (4) .学生のfGPAの変動の可視化



# (4) 2019年度入学生 (食物栄養学科) のfGPAの変動の可視化

## 1年前期 vs 2年間



1年前期と2年間の f GPA の関係は、相関係数が 0.95 と高い数値を示し、1年生前期の成績が2年間通して大きく変動することはなかった。

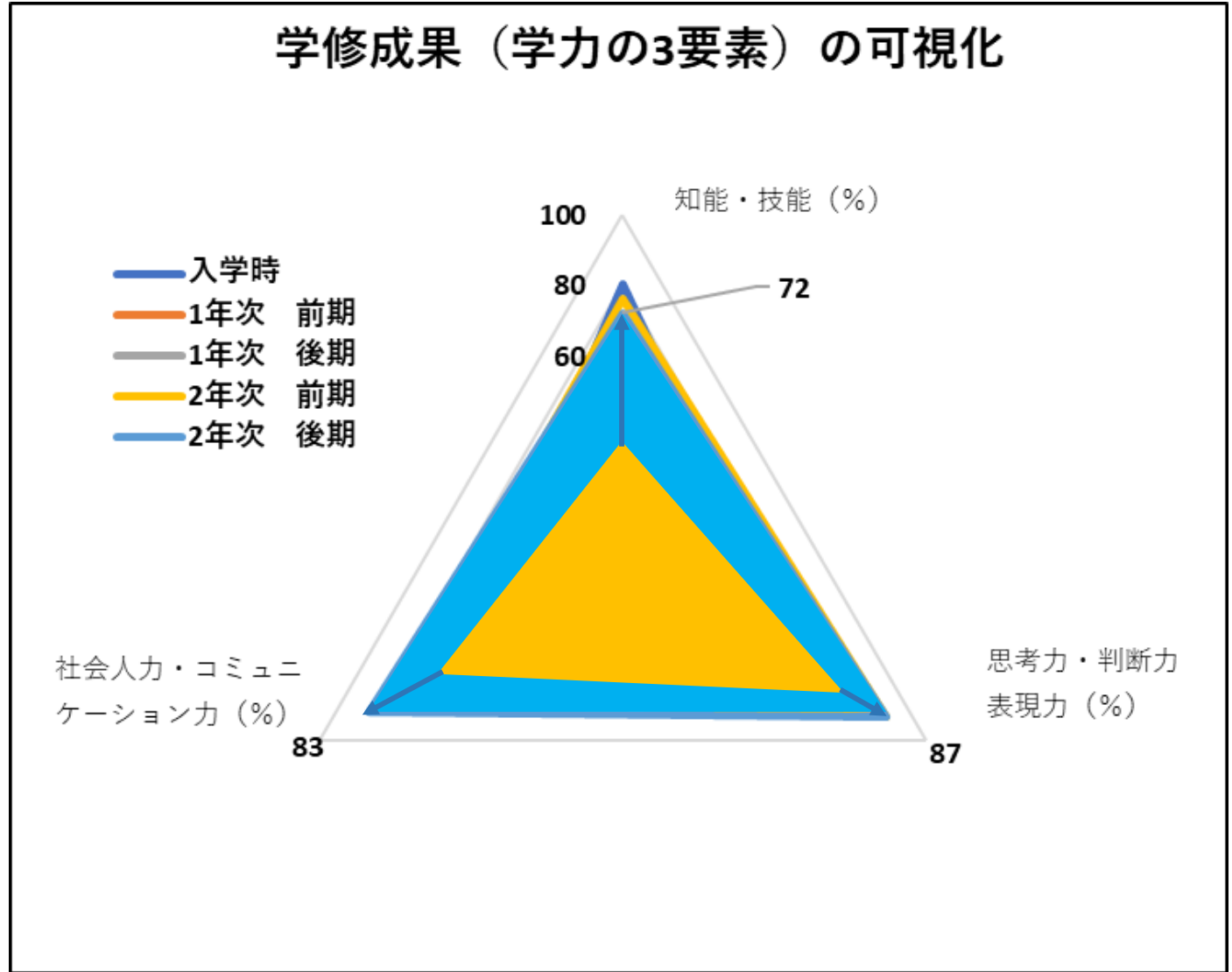
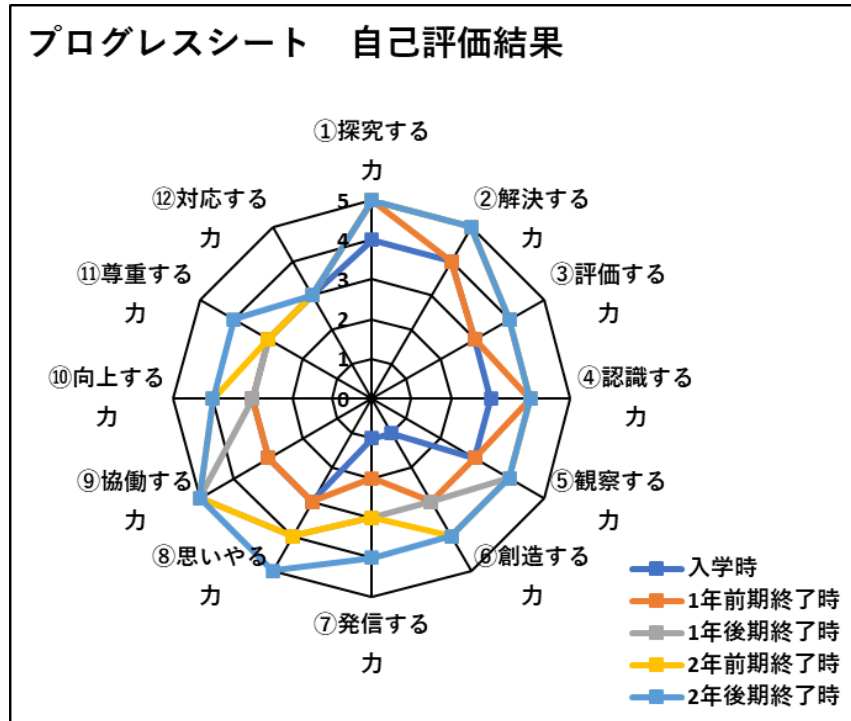
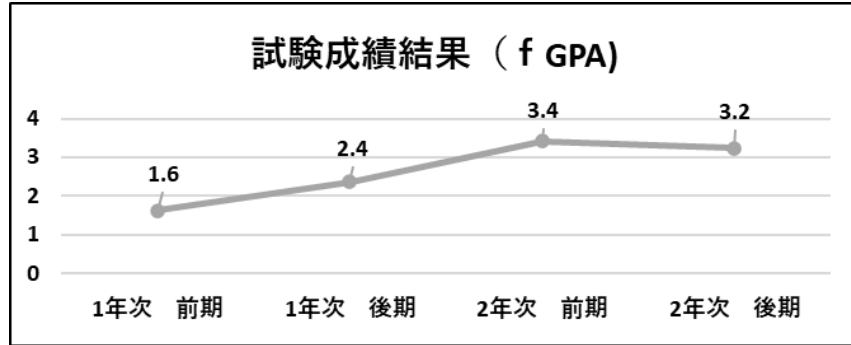


● f GPAが0.5以上上昇した学生は、成績中位から下位に多くみられる。

● f GPAが下降した学生は、成績上位者に多くみられる。

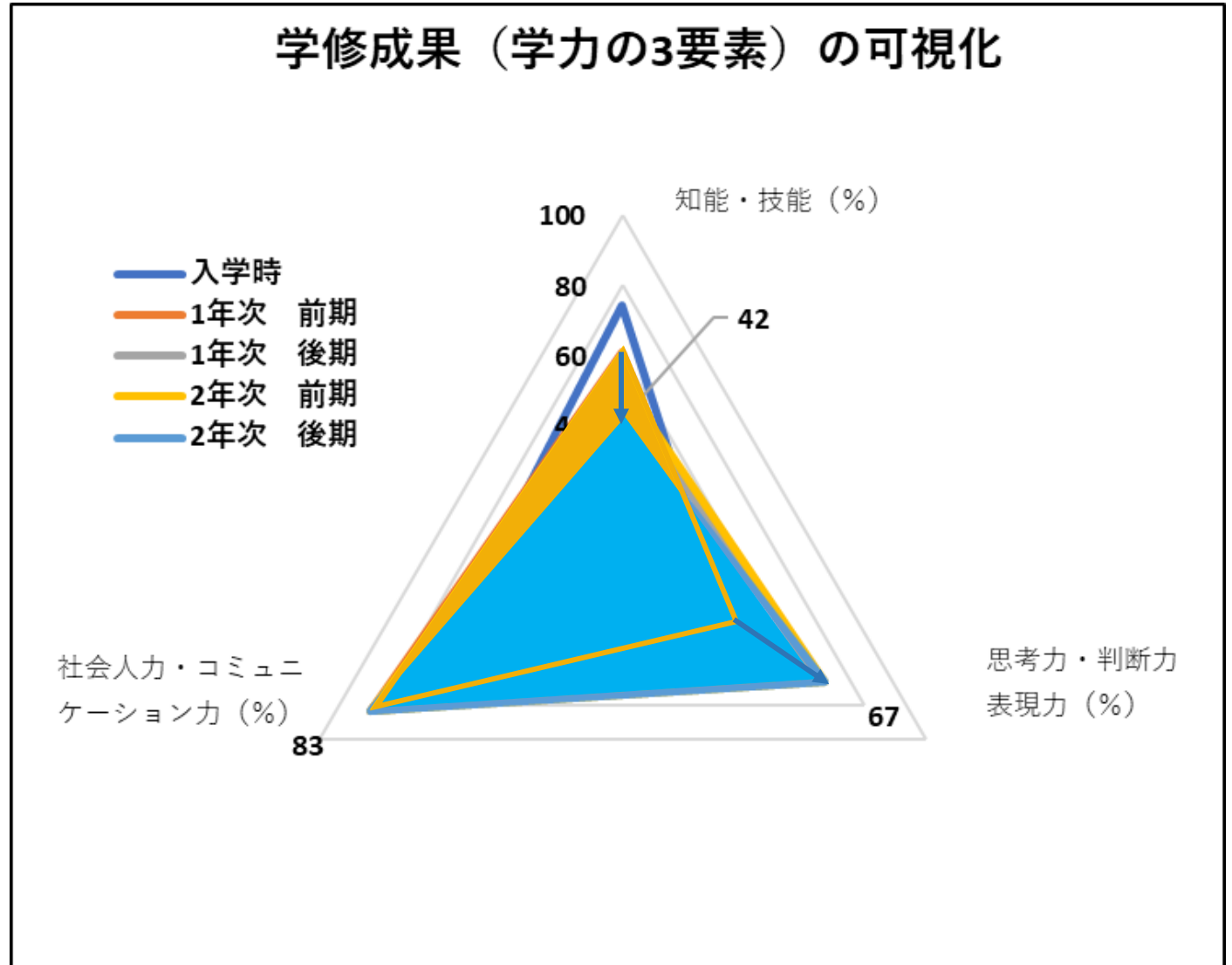
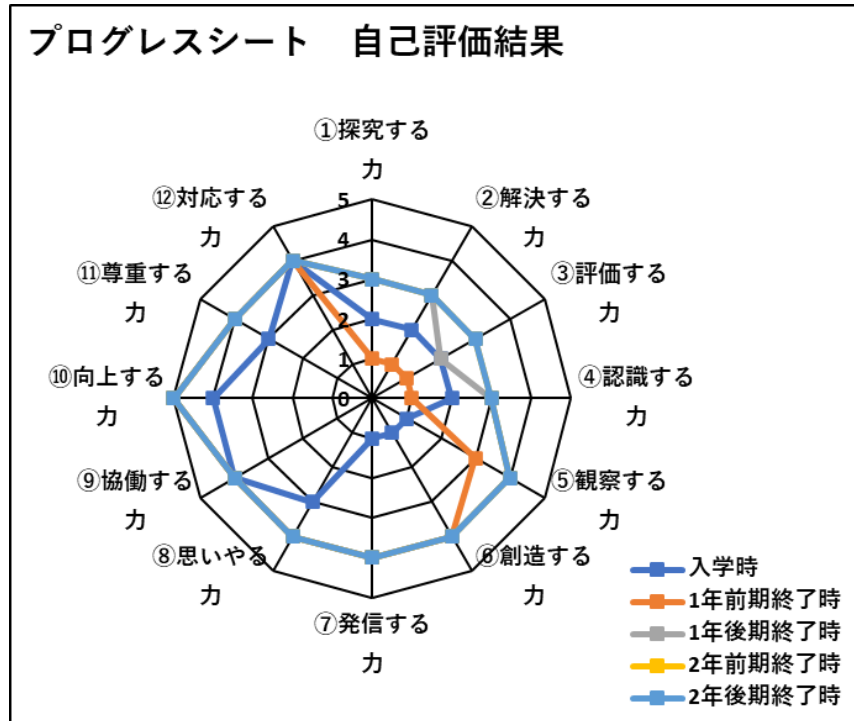
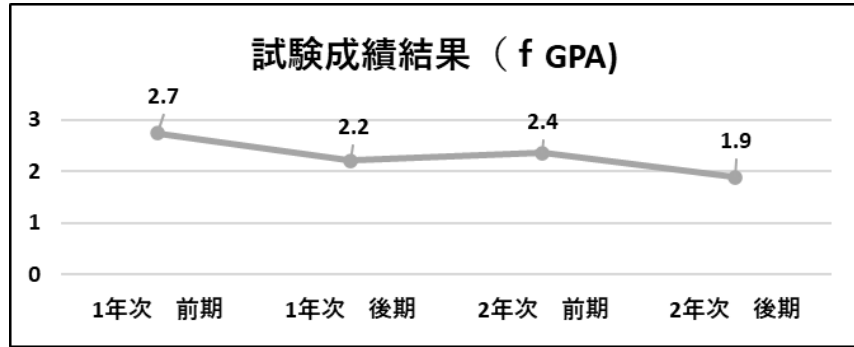
# (5) 2019年度入学 食物栄養学科 学生Aの学修成果

## 学生A



# (6) 2019年度入学 食物栄養学科 学生Bの学修成果

## 学生B





---

# 5. 今後の課題

# (1) 今後の課題

## ①より精度の高い自己評価システムの改善

- プログレスシートの内容の見直し
- プログレスシートの実施方法の見直し

## ②学修成果を踏まえた指導手続きの改善

- 学力の3要素を伸ばすための指導の改善
- 学力の3要素をバランスよく伸長させることは、栄養士、保育士・幼稚園教諭の専門職として活躍するためには必要。学力の3要素が正三角形に近づくことを目指し、2年間の学修指導を実践していく必要がある。

An aerial night view of a city, likely Osaka, Japan, showing a dense grid of lights and a prominent harbor area. The city lights are a mix of warm yellow and white, with some green and blue accents. The background is a dark blue sky. A semi-transparent white rounded rectangle is overlaid on the center of the image, containing the Japanese text.

**ご清聴ありがとうございました。**